

図書室だより

平成26年1月17日
立花中学校
図書室

1.17をつたえる 3.11をわすれない

今年もこの日がやってきました。今から20年ほどまえのコトですからキミ達はしりませんよね。しかし三年前の3.11は覚えているでしょう。どちらも「未曾有の大地震」とか「想定をこえた震度」とか言われました。しかし長い地球の歴史の中ではもっと古い時代には同じような（それ以上の）大地震は何度も起きているはずで、今後も地震だけではなく「体験したこと無い自然災害」は発生するでしょう。それに対して私達は無力ですが、知識・知恵があります。過去の人々が残してくれたそれらをフルに使って被害を最小限にとどめることは可能です。そのための訓練をですが今日一日だけのイベントに終わることなく、毎日の生活の中で考えてもらえるよう図書室でも資料を用意しました。入口正面の本棚に八冊の本を並べてあります。



図書室にきたとき、一度目を通してください。こうやって訓練や読書で得た知識が、いざと言う時アナタやアナタの大切な人を守ってくれるはずで

みんなで生き抜く防災術

地震・放射能・停電といったトラブルにどう対応すればいいか、55問のQ&A式にまとめられています

みんなの防災ハンドブック

さまざまな自然災害に遭遇したときどう行動すればいいか、非常時の調理法、健康管理法などが4コマのイラストで描かれています。

大震災発生 公的支援がくるまでの200時間を生き延びる知識と知恵

前半が、大地震がおきた時どうするか、三択形式の問題。後半が大地震に対する備えや地震後の法的な問題などに関するコラムになっています

命を守る防災サバイバルBOOK

アウトドア生活のグッズやテクニックが災害の時にもお役に立ちます！といった感じの編集です。初歩的な救急救命法の説明も載っています

12歳からの被災者学 阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵

地震が起こったとき人々はどうのよう行動したかを取材し報道、建築、学者の目からまとめられています。実際の行動記録なので役に立つと思います。

巨大地震と仕組み Newton / 日本の地震地図

地震のおきるわけ、分布などが図解やグラフで説明してあります。日本が地震国であることを実感させられる本です。（敵を知り己を知れば百戦危うからず、です）

地球の声に耳をすませて

地震の研究者が中学生向けに書いた震災解説書。文が多いけどわかりやすい。中学生ならこれくらいの文字情報は読みこなしてほしい一冊。